

# 令和7年度後期 学校評価アンケート保護者版 集約

アンケートに御協力いただいたこと、また、貴重な御意見をお寄せいただいたことに、感謝申し上げます。今回は、お家の方々からの御意見と御要望に回答させていただきました。どうか御一読願います。

## 1. お家の方々から、よい点としてあげていただいた事柄

- 歌声がとても大きく明るく、ステキです。
- みんな仲よく気にかけているなと思います。
- 元気なあいさつ、声をかけてくれるのがうれしい。
- あいさつをしてくれるところがいい。
- いつも元気にあいさつしてくれてうれしい気持ちになります。
- 下級生にもいつもやさしく、仲よくしてくれてとてもうれしく思っています。
- 学校生活でやるべきこと、役割をしっかりと実行していることが素晴らしい子どもたちだと思います。
- 元気があってよい。
- 窓を開けて南ガーデンへ歌を届ける活動、とてもよいなと思います。子どもの声は元気が出る、とよく近所の高齢者の方から聞くので、きっと南ガーデンの方々も同じく感じていると思います。
- あいさつができるところがよいと感じる。
- 元気にあいさつをしてくれるのでうれしいです。
- 学年関係なく仲よしなところが素晴らしいです。(2人)
- 南小の子どもは素直で元気いっぱい。自然と触れ合って生活しているので、子どもらしくてよいと思います。
- 少人数のよさがあると思います。仲よくいてほしいです。
- 児童館に迎えに行った際、「こんにちは」「さようなら」とあいさつしてくれる他学年の児童がいます。また、気さくにお話してくれたりとても素晴らしいと思います。
- 大きな声で元気よくあいさつができています。
- 南小の子どもたちはみんな元気でやさしいと思います。
- 学級の中で男子の人数が少ないのですが、とても仲がよいのが参観日などに見れて微笑ましいです。
- 女の子がしっかりリードして、クラスを引っ張っていつてくれていることがよい点だと思います。
- 元気なあいさつ、声をかけてくれるのがうれしい。
- 学年問わず仲よく過ごせていること。
- あいさつが気持ちよく、元気がある。
- あいさつを必ずしてくれるのがうれしいです。
- 異学年が仲よくできたり、人なつっこくて元気に声をかけてきてくれるところがいいです。
- さつまいも販売について、とてもいい経験になったと思います。準備で、袋の一つ一つに手書きのシール(かわいいキャラクター)もはられていて、ていねいに細かいことまで頑張ったんだなあと思いました。

- あいさつと仲のよさ
- 授業参観やお迎えで学校へ行くと、元気にあいさつをしてくれる児童がたくさんいるのがよい点だと思います。
- 学年関係なく仲がよい。いつも一緒に遊ぶ姿を見るたびに環境のよさを感じます。
- 年々子どもが減ってさみしい気もしますが、さつまいも夢プロジェクトや中学校と合同で運動会をやったりと、地域の方々にも恵まれて、ありがたいなと思います。
- いつもお世話になっております。これからもよろしくお願いします。
- いつも手厚い御指導をありがとうございます。
- ちぎり絵、記念式典とても素敵でした。
- 20周年の時に自分が学年の発表で統合前の校歌を歌い、今回聴いていて懐かしく思いました。
- 担任の先生は、常に子どもたちのことを見てくれて、連絡帳に書いてくれるのでいいと思います。
- さつまいも夢プロジェクトなど、子どもに意欲をもたせてよい。
- よく対応、指導いただき、子どもの様子や次年度の相談も真摯に対応いただき、大変ありがたいです。次年度以降も、もし担任が変わったとしても同じように相談させていただけるとありがたいです。本当は変わらないでほしいです。
- いつもお世話になっております。今後もよろしくお願いします。
- 感染症や熊対策、少子化問題などその他たくさん教育以外に関する事柄があり、とても大変だと思います。そのような中でも熱心にさまざまな活動、指導をしてくださりありがとうございます。
- 先生のみなさんのおかげで、子どもたちが元気に学校生活を送れていると感謝しています。今後も一人一人の個性を大事に指導していただけると幸いです。
- いつも手厚い御指導をありがとうございます。
- いつも御指導ありがとうございます。

## 2. お家の方々から、御意見、御要望としてお寄せいただいた事柄

子どもの振る舞いについて

- ▲ 学校外では少しおとなしく、人見知りな子が多いことは気になります。
- ▲ 元気がありハキハキとしたあいさつができていると思いますが、口の利き方が少し気になります。
- ▲ 少し前ですが、容姿のことをばかにされる（いじり？）と子どもが話しており、嫌だから先生にも相談したと言っておりました。最近子どもの口から聞かないので収まったのかなと思っていますが、年が近い学年ならまだしも、年が離れた他の学年まで何度もばかにしたようなことをするのはちょっと無いなと感じています。
- ▲ 「おはようございます」や「こんにちは」のあいさつができない子が見られ、気になる。
- ▲ 自分たちで解決できる力を付けてほしい。

今回お家の方々からお寄せいただいた御意見を踏まえて、先生方で話し合いましたところ「子どもたちを“はきはき”させるためにいろいろな面から働きかけよう」という意見が出ました。この“はきはき”は、人見知りを乗り越えるにも、あいさつを交わすにも、とても大事な要素だと考えます。しかし、やみくもに「はっきりしなさい」と繰り返しているだけでは、子どもたちにはさほど響かないだろう、とも思います。明るい雰囲気の中自分でも思わず声を発したくなる、話したくなる、そんな学習活動を通して、子どもたちの澁刺とした振る舞いに少しずつ結び付けていきたいと思えます。

口の利き方に関しては、礼節をわきまえない、明らかに失礼にあたる言葉遣いが時折見られることを把握しております。また、いじる等の発言によって相手を見下し、あざ笑うような状況があったことも確認しています。いじめの芽とも受け取れる言動ですので、子どもたちのこれからを考えると、決して看過できません。

学校では、普段の学習活動は勿論、道徳や特別活動を通して、適切な言葉遣いや相手に対する思いやりや優しさを指導していきます。そのような言動が見られる子どもには、何かしらの理由があるのかもしれませんが、言い分に耳を傾けながらも、駄目なものは駄目決して許さない、本当はどうするべきなのか是非じっくり考えてほしい、この次はできるといいね、というメッセージを発信していきます。

なお、子どもの振る舞いをよりよい方向に導いていくためには、お家の方々からの御協力が欠かせません。必須です。年長者に対する態度（大人になったらなおさらに求められます）も心ない発言も「あいさつ、あんまりできていないのかな？あなたは思う？もしも、言われて悲しんでいる友達がいたらどうする？」と問いかけて、話題にしていきたいと思えます。

## 職員による対応について

- ▲ 熊が多く出ている時でも低学年の玄関が全開で、もう少し注意した方がよいと思えます。熊だけでなく、不審者も怖いと思えました。よろしくをお願いします。
- ▲ 熊が学校周辺、グラウンドに出た時の学校内の活動の様子が見えにくかったと思う。去年は「外遊びはやめます」というようなメールがもっと頻繁に来ていたと思う。熊が出ているのに、外で遊んでいるのか心配だった。朝の送りも、校門の中までは難しいのは承知しているが、校門から玄関の間が心配。なかキラの場所も栗の木が近く、危ないと思う。
- ▲ 学校報の文字がつまりすぎて読みにくいと感じます。字の大きさや行間などに余裕があると、さらによいかと思えました。

熊対策については随分と頭を悩ませましたが「子どもたちの活動を安易に諦めない、可能な限りの対策を講じた上で学習を進める」を基本線としております。但し、何かあってからでは遅いということも充分に承知しております。そこで、二学期中は次のような対策を取っておりました。

- ① 子どもたちの登校中は、熊よけスプレーと音の鳴る物を所持した職員が複数名正門から児童玄関までに立って、見届けを行う。
- ② 登校後から8：00までは、子どもたちは外に出ない、やむを得ず出なければならぬ場合は、必ず職員が帯同する。
- ③ 授業中に外に出での活動がある場合は、決して子どもたちだけにはせず、職員が近くにいる状態で学習を行う。必要に応じて複数の職員で対応する。
- ④ 10：00～10：25と12：45～13：05の休み時間については、体育館裏手の栗の木と校地内北側の築山（通称：ハナクソ山）には、子どもたちだけで行かない。職員の目が届く、遊具やグラウンドで遊ぶ。
- ⑤ 放課後、児童館に向かう際には、校内の廊下を通して移動する。
- ⑥ 放課後、子どもたちが児童玄関から正門横のバス停に向かう際には、その途中を必ず職員が帯同する。また、バス停においても職員が待機し、子どもたちが確実にバスに乗車したことを見届ける。
- ⑦ 近隣において熊の目撃情報があり、校舎外での活動では子どもたちの安全が確保できないと判断した場合には、校舎外での活動を行わない。

三学期になって、熊出没の可能性はかなり低くなりましたので、①②③④⑥⑦については、現在解除しております。しかし、上記⑤については、除雪により道幅が狭くなっていることも含めて継続しております。何かあった場合には、事前にメール連絡いたします。

児童玄関の扉が開きっぱなしであることについては、職員と子どもたち全員で開いていたら閉めることを行います。それぞれの御家庭においても「開いたら閉めるって大事だよね」とお声かけください。なお、以前にも学校報でお伝えしましたが、毎日朝8：00を過ぎたら児童玄関は施錠されること、また、職員玄関につきましても、今後はインターホンを設置し、常時施錠を予定していることを御承知おきください。

学校報の文字が詰まっていることですが、申し訳ありません。子どもたちの頑張りや、そこから思ったことなど、お家の方々にお伝えしたいことが毎回たくさんありまして、どうしても文章が多くなってしまっております。今後、可能な限り簡潔にまとめて、見やすい紙面になるよう努めます。お子さんに配付する紙媒体、PC、スマートフォン、いずれでも結構ですので、どうかお読みになっていただければ幸いです。

## 学校の諸行事、取組について

- ▲ ハチ公生誕祭を現地解散にさせていただき、ありがとうございました。バスで学校に戻ると現地解散を選択できるようになると、土曜日はキラキラクラブを利用することもできるので、参加させやすいかなと思いました。
- ▲ 毎年さつまいも夢プロジェクトを行ってくださりありがとうございます。子どもたちが楽しく作業し、異学年との交流もできていると思います。大森山動物園にさつまいもを届けることも楽しみにしていて、学んで帰ってくる事ができているので、来年からもぜひ全学年が行けるといいなと思っています。交通費は家庭から出すなどの工夫で、御検討していただけると幸いです。
- ▲ 大森山動物園の訪問について。来年度から学年を限定…など、いろいろ考えてくださっていると思いますが、高学年になっても毎年楽しみにしている行事の一つです。少しの金額であれば多少負担しても、全校のみんなで行けたらいいなという思いがあります。どの位の経費がかかるか不明ですが、検討をお願いします。
- ▲ 水曜日のメディアコントロールですが、アニメもいけないと聞いています。が、アニメは親も一緒に見て感想を言い合うなどコミュニケーションになるので、アニメは除いてほしいです。
- ▲ 子どもが減っていく中で、PTAや子ども会の在り方が負担になっていくのでは…？という不安があります。

ハチ公生誕祭当日のバス利用については、生誕祭の開催が土曜日か日曜日ということがあって、やや難しいかもしれません。しかし、交通手段が確保されていることは、より多くの子どもたちが生誕祭に参加できるようになるための条件でもあります。担当各部署と話し合って検討いたします。

大森山動物園訪問については得るものが大きく、南小学校独自の意義深い取組でもありますので、全校での訪問という形での継続が理想かと考えます。一方、経費の高騰については、私たちのところだけではなかなか難しいものがあるのも事実です。さつまいも夢プロジェクトに関する今年度の収支決算と来年度以降の見通しを精査して、新年度の早い時期にある程度の方向性を示すことができればと考えます。少々お時間をいただければ幸いです。

水曜日ですが、本校では毎月の第一水曜と第三水曜を読書デーとしております。これは読書に親しむことをねらいとしており、メディアコントロールの一助とも位置付けております。アニメ番組は親子のコミュニケーションになり得るというお考えももったもですが月に二度の限られた読書デーですので、読書を終えた後の家族のコミュニケーションとして、メディア端末に頼らない方法をどうか御検討いただければと思います。勿論、お仕事などの御都合もあろうかと存じます。無理のない範囲での御協力をお願いいたします。

PTA組織については、世帯数が微減し続けている現状を考えますと、組織の規模という観点から、検討の余地が大いにあるものと思います。しかし、減っていく中だからこそ会員みんなですれずつ力を合わせましょうという考え方もあります。要は、年間を通して何をやるかというところの見直しが大切なのだと思います。役員を引き受けてくださった方だけが負担感を感じる事の無いよう、また、子どもたちのために、或いは、会員の皆様のために、本当に必要な活動は何なのだろうかという視点から検討してまいります。